

ハンセン病問題に関する検証会議における検討の経緯について

平成13年5月11日：ハンセン病国家賠償訴訟熊本地裁判決

平成13年5月25日：ハンセン病問題の早期かつ全面的解決に向けての
内閣総理大臣談話

平成13年6月22日：ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給
等に関する法律（平成13年法律第63号）公布、施行

平成13年12月25日：厚生労働省は、ハンセン病政策の歴史と実態につい
て、科学的、歴史的に多方面から検証を行い、再発防止のための提言を行う
ことを目的として、検証会議を設置し、今後の政策の立案・実行に当たって
その提言を尊重する旨統一交渉団と協議会の場において合意。

平成14年10月16日：第1回検証会議開催（財団法人日弁連法務研究
財団へ委託）＜委託期間：平成14年度～16年度＞

平成16年7月13日：再発防止のための提言（骨子）を検証会議が坂口厚生
労働大臣へ提出

平成16年9月27日：厚生労働省は、検証会議が今年度末提出予定の再発防止
のための提言を尊重し、また、平成17年度内を目途に、提言を十分検討し、
その検討結果の実現に向けた道筋等を明らかにするための開かれた検討会の
設置に努める旨統一交渉団と協議会の場において合意。

平成17年1月27日：最終報告書の別冊として「胎児等標本調査結果」「被
害実態調査結果」報告書について検証会議が健康局長へ提出

平成17年3月1日：第26回（最終回）検証会議で最終報告書を厚生労
働大臣へ提出

ハンセン病問題に関する事実検証調査事業委員名簿

平成17年1月

○ 検証会議メンバー（総員13名）

座 長	金平	輝子	元東京都副知事
副座長	内田	博文	九州大学法学部教授（検討会併任）
委 員	鮎京	眞知子	弁護士
	和泉	眞蔵	アイルランガ大学熱帯病センターハンセン病研究室（検討会併任）
	大塚	浩之	読売新聞東京本社社会部次長
	神	美知宏	全国ハンセン病療養所入所者協議会事務局長
	研	雄二	ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会会長
	藤野	豊	富山国際大学人文社会学部助教授（検討会併任）
	藤森	研	朝日新聞社編集委員
	牧野	正直	国立療養所邑久光明園園長
	三木	賢治	毎日新聞社論説委員
	光石	忠敬	弁護士
	宮田	一雄	産経新聞社論説委員

（50音順・敬称略）

○ 検討会メンバー（総員20名）

委員長	井上	英夫	金沢大学法学部教授
委 員	和泉	眞蔵	アイルランガ大学熱帯病センターハンセン病研究室
	宇佐美	治	国立療養所長島愛生園入所者
	江連	恭弘	法政大学第二中高等学校教諭
	内田	博文	九州大学法学部教授
	岡田	靖雄	精神科医療史研究会世話人
	窪田	暁子	中部学院大学人間福祉学部教授
	訓覇	浩	真宗大谷派解放運動推進本部本部委員
	酒井	シヅ	順天堂大学医学部客員教授
	佐藤	元	東京大学大学院医学系研究科講師
	鈴木	則子	奈良女子大学生生活環境学部講師
	田ヶ谷	浩邦	国立精神・神経センター精神保健研究所精神機能研究室長
	並里	まさ子	国立療養所栗生楽泉園副園長
	福岡	安則	埼玉大学教養学部教授
	藤野	豊	富山国際大学人文社会学部助教授
	松原	洋子	立命館大学大学院先端総合学術研究科教授
	丸井	英二	順天堂大学医学部教授
	宮本	阿伎	文芸評論家
	森川	恭剛	琉球大学法文学部助教授
	魯	紅梅	順天堂大学医学部助手

（50音順・敬称略）